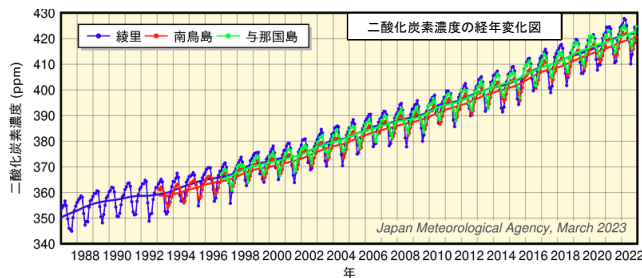


地球温暖化が進んでいます！

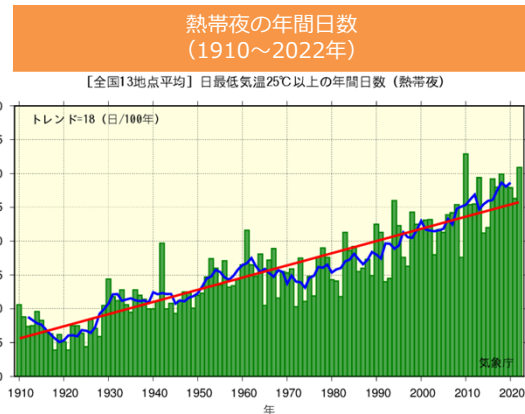
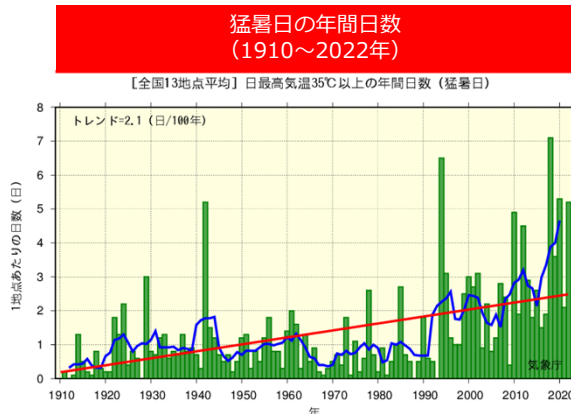
近年、集中豪雨や台風等による被害が相次いで発生しています。これは雨の降り方が局地化、集中化、激甚化していることが原因です。八重山地方では、2019(令和元)年5月13日に与那国島地方で、2020(令和2)年6月8日には石垣島地方で、「50年に一度の記録的な大雨」となり、住家の床上浸水や道路冠水等の災害が発生しました。このような自然災害が増加する背景には「地球温暖化」が影響しているとの指摘があり、その要因として、人間活動による二酸化炭素などの温室効果ガスやエアロゾル（工場からの煙や車の排気ガスなどの微粒子）などの急激な増加が挙げられています。

●二酸化炭素濃度が上昇し、猛暑日、熱帯夜の日数は増加しています

二酸化炭素は、地球温暖化におよぼす影響が最も大きな温室効果ガスであり、その量は年々増加しています。



沖縄地方の平均気温は、100年で約1.7℃（石垣島では1.3℃）の割合で上昇しており、気温の上昇によって全国的に猛暑日（1日の最高気温が35℃以上の日）や熱帯夜（夜間の最低気温が25℃以上）の日数が増加しています。



都市化の影響が比較的小さい国内13観測地点（※）で観測されたデータに基づく。各年の値は年間日数の合計を有効地点数の合計で割った値で、1地点あたりの年間日数を意味する。棒グラフ（■）は各年の値、折れ線（—）は5年移動平均値、直線（—）は長期変化傾向

※ 観測地点：網走、根室、寿都、山形、石巻、伏木、銚子、境、浜田、彦根、多度津、名瀬、石垣島

詳しくは、気象庁HP <https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/>
 沖縄気象台HP https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/kiko/obs_okinawa.html

●地球温暖化を緩やかにするために私たちにできること

私たちにできる身近なことから、二酸化炭素の排出を減らしていきましょう。

- ・冷暖房の温度を控えめに設定するなど、日ごろから節電を心がけましょう。
- ・通勤や買い物の際は、公共交通機関や自転車を利用したり、自動車を使うときも「エコドライブ」を実践しましょう。

防災気象情報は、テレビ・ラジオ・またはホームページから

石垣島地方気象台ホームページ <https://www.jma-net.go.jp/ishigaki/>

※ ホームページは、スマートフォン対応済みです。

お問い合わせ先：石垣島地方気象台 電話番号：0980-82-2159

石垣島地方気象台はこちらから



【2023年4月号】